

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農工商連携	○	農・林・水産業	○
			地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流	○
			地域コミュニティ・集落再生	◎	環境	
			地域交通・情報通信	○	まちづくり	◎
ふりがな		まつもと ひでゆき				
氏名		松本 英之				
所属	名称	一般社団法人港まちづくり協議会大阪/大阪公立大学大学院都市経営研究センター研究員/みなとまちづくりマイスター大阪港				
	役職	理事 事務局長				
連絡	住所	(公開)	〒 552-0021 大阪市港区築港 3-7-15 港振興ビル 212			
	連絡先	(公開)	E-mail hbkkk913[アットマーク]ybb.ne.jp			
			TEL	FAX 06-6572-0017		
	連絡方法		E-Mailでお願いします			
略歴		1987 年 大手証券会社に勤務。全営業マンの中で 3 期連続トップセールスマンとなる。1999 年 株式会社サポートリンクを設立。飲食店顧問、商業施設開発、飲食店運営、私立大学にて食堂物販をプロデュースする。2018 年 近畿地方整備局の依頼により国土交通省近畿地方整備局港湾空港基礎研修の講師として講演。管理職(4 年目から 7 年目対象)に港湾空港一般基礎研修として「地域活性化戦略と観光」を講演する。2018 年 大阪市立大学 CR 副専攻教育助手となる。2019 年国土交通省の依頼により、国土技術政策総合研究所横須賀第二庁舎において、みなとまちづくり担当者実務コースの講師として、「地域マーケティングを活用したみなとまちづくり」を講演する。2020 年 クラシエホールディングス株式会社にてマーケティング講師として部長クラスおよび営業、マーケティング担当者に「地域に愛されるブランドづくり」を講演する。2020 年 京都府宮津市海のにぎわいづくりアドバイザーに就任する。2021 年 京都府宮津市より田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会座長に選任される。2022 年 大阪市港区において、「みなと地域マネジメント協議会」と「みなと先端技術推進協議会」が設立し、両団体の事務局長に就任する。2024 年 大阪関西万博「ゼリ・ジャパン海の万博プロジェクト実行委員会(2025 年日本国際博覧会協会後援)」の事務局長に就任する。 【受賞】 ●2016 年大阪市立大学大学院創造都市研究科都市経済・地域政策における修士論文で Master of the Year を受賞。 ●同年、国土交通省より国土交通省港湾局長賞受賞。一般社団法人ウォーターフロント協会より、みなとまちづくりマイスター大阪港を拝命。 ●2024 年日本港湾協会港湾功労賞受賞。				
著作・論文等		●「新港再生モデルにもとづく港まち再生のイメージ戦略と地域マーケティング」『創造都市研究 e』2016 年 11 月 1 号。●「旧港・新港モデルにもとづく港まち再生戦略」『都市経済・地域政策』2016 年 12 号。●『女子力・シニア力活用の勝つマーケティング』セルバ出版/三省堂、				

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	2017年。●『マーケティングを活用した港まち再生と観光開発～第2 ゴールデンルート瀬戸内「創造的内海」～』大阪公立大学共同出版会、2021年。●冊子「港湾」コラム担当、2018年～2019年3月(1年間)公益社団法人日本港湾協会。●冊子「ウォーターフロント開発」『クルーズ振興による旧港活性化 みなとオアシス大阪港天保山から』一般社団法人ウォーターフロント協会 2018年。●「分権型社会を拓く自治体の試みとNPOの多様な挑戦-地域社会のリーダーたちの実践とその結果-19号『今からが本番 地域活性化戦略～3都市の事例から～』龍谷大学大学院地域公共人材総合研究プログラム、2022年。その他論文多数。
取組概要	2004年 地域ブランドを目指し、大阪のソウルフード「お好み焼き」店の企業化を図り、東京圏での「お好み焼き」の認知度をアップさせ、商業施設での出店を果たす。 2012年 大阪市より依頼を受け、大阪市港区築港エリアの地域活性化に参画。同エリア開催のMINATO 天保山まつりを2017年開催大阪港開港150年事業へと押し上げ、イベントの地域ブランド化に成功 2017年 地域交通として小型EVの導入を目指し、大阪市立大学の地域実践演習(CR副専攻)の一環で小型EVの実証実験を大阪市とともに社会実験として行う(産官学連携)。これをシェアサイクル導入につなげる。大阪市において、大阪市港区で地域交通として携帯端末と連携したシェアサイクルをバイクとして導入、地域団体「築港・天保山にぎわいまちづくり実行委員会」と「OpenStreet(株)」の提供により導入が成功した。 2020年 大阪市より「港とまちをつなぐにぎわい創出事業」を受託し、八幡屋公園のパークマネジメントのロールモデルをつくる。京都府宮津市「海のにぎわいづくりアドバイザー」に就任し、北前船ルートの物語で大阪市港区との交流を図り、地域イベントの連携、産品、人の交流等を行い、交流人口関係人口の増大をはかる。 2021年 大阪市港区において新技術新産業育成プロジェクトとして(株)スカイドライブ「空飛ぶクルマ」の実証実験に協力する。その後、社会受容性の調査およびアンケートを実施する。これにより、大阪市と「みなと先端技術推進協議会」を設立した。現在、地域活性化の会議を実施し、大阪市港区全体のエリア活性化をプランニングしている。大阪市港区委託事業「新技術・新産業を基軸にした公民連携によるエリア活性化事業」において、大阪市港区における港区エリア活性化ビジョン(弁天町駅・朝潮橋駅・大阪港エリアの3エリア)をプランニングし、実施する。 2022年 岩手県滝沢市において、産官学連携として岩手県立大学、盛岡大学、プラザ販売(株)と同市で地元愛着形成施策として、学生と歴史文化を活かしたまちづくりすごろくゲームを創作した。 2023年 大阪・関西万博建設工事にボランティアで食事サービスを市民と共同し、提供運営する。また今後の海づくりとまちづくりの一体化を図るため、一般社団法人大海(おおわだつみ)まちづくり実行委員会を設立する。 2024年 大阪・関西万博「ゼリ・ジャパン海の万博プロジェクト(2025年日本国際博覧会協会後援)」をスタートする。海でつながる港まちのにぎわい観光事業を構築した。

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

メッセージ	1)まちづくりの基本は研究と実践の両立で実学になることです。 2)すべては「現場」でのコミュニケーションこそが大切です。 3)港(海)のまちは港から、山のまちは山からまちづくりを考えることでストーリーテリングが可能となります。 4)一次産業のイノベーションは食の安全保障と地方創生で稼げる「まちづくり」に寄与し、地域活性化につながります。 5)地域産業イノベーションはエネルギーおよび食糧自給率等の課題解決につながる事業こそが次への成長産業です。 6)観光はサービス産業であり、マーケティングそのものです。カスタマーサティスファクションがイノベーションを起こすきっかけにもなります。「する」「みる」「買う」「食べる」「つながる」 7)日本の再生は地域活性化とコミュニティの再生です。		
関連ホームページ	http://minatomachi-o.jp/	活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。